

令和6年10月28日



大型クラゲ情報(令和6年度第13号)

概要

- 底びき網で最大数十個体の入網がありますが、数は減少しています。しかし沖寄りの海域では当面は入網が続くと考えられますので、注意を続けてください。

本県の出現状況(10月11日～10月24日)

- 沖合底びき網は、沖寄りの海域で操業する船で1網あたり1～数10個体の入網がありますが、入網数は減少傾向にあります。沿岸寄りの海域で操業する船では、1網あたり0～1個体、または欠片状のものが数個程度の入網です。
- 定置網は、東部・西部地域で入網が無く、隠岐地域でも欠片程度の入網です。

漁業情報サービスセンター(JAFIC)からの情報提供(10月24日現在)

- 分布は千葉県に達しました。千葉県での確認は2009年の大量出現以来です。
- 10月15～16日に鳥取県によりトロール調査が行われ、島根県出雲～大田沖の水深220～330mの海域で、2～8個体の入網がありました。
- 各地の入網状況は概ね散発的かつ少量ですが、サイズが大きいことなど、操業の支障になる可能性があります。また、引き続き底びき網等沖寄りで分布が多い模様です。

※詳細は漁業情報サービスセンターHP (<http://www.jafic.or.jp/kurage/index.html>)

【発信者】

島根県水産技術センター
海洋資源科 担当：石原
TEL: 0855-23-4806
FAX: 0855-23-2079
Email: suigi@pref.shimane.lg.jp